

今なぜクマタカなのか！



日本野鳥の会 岐阜県支部長 大塚 之稔

- 森林生態系の頂点
- 個体数の減少 絶滅の恐れ
- 象徴的存在

環境問題 自然環境の保全

クマタカとは



タカ目 タカ科

Spizaetus nipalensis

熊鷹・角鷹

Mountain Hawk Eagle

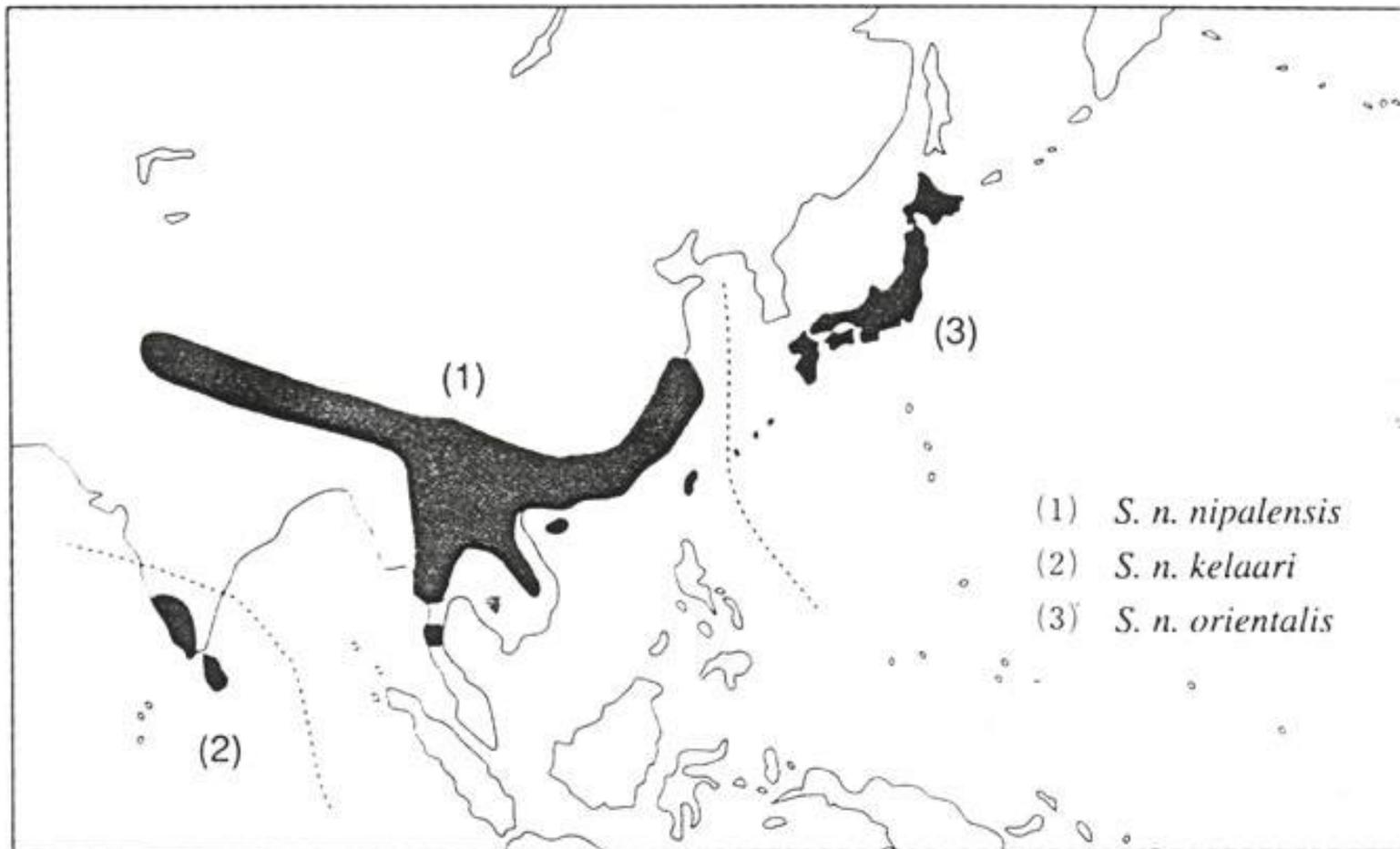
雄 72cm 雌 80cm

翼長 140 ~ 165cm

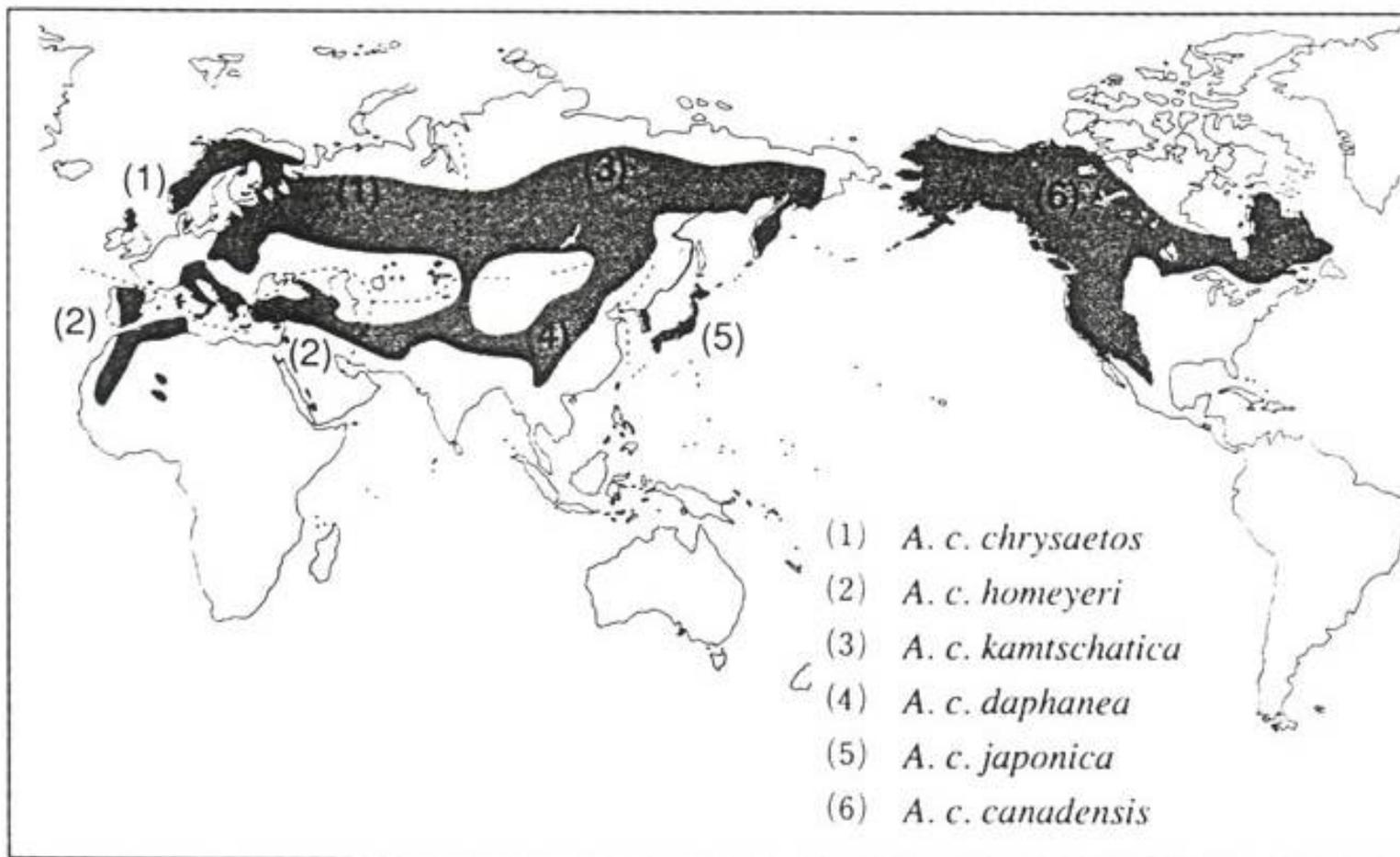
雌雄同色

九州以北の標高300
~ 3000mの山岳地
帯に留鳥として生息

撮影：桑原久男



クマタカの分布



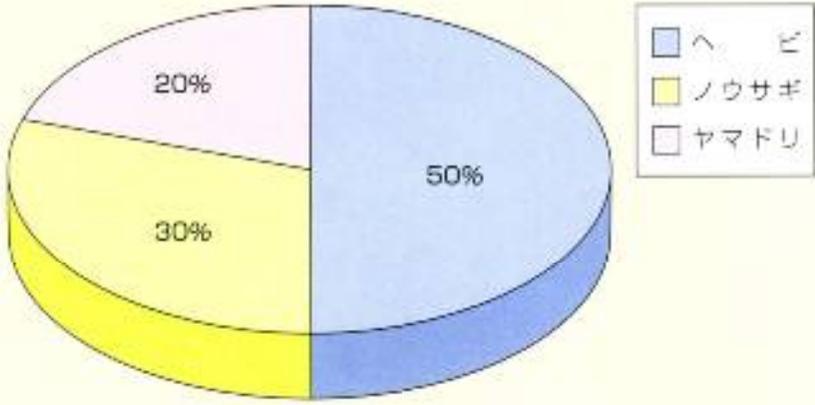
イヌワシの分布



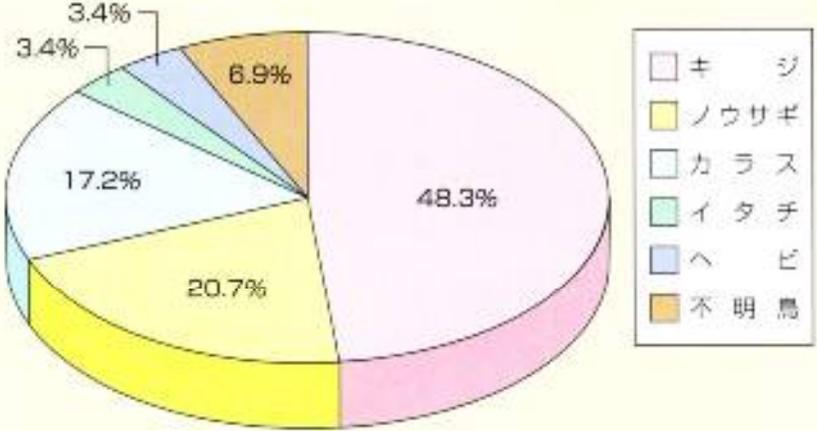
鈴鹿山脈13巣で確認された クマタカの餌動物(1987-91)

	種名	個体数
哺乳類	ノウサギ	13
	アナグマ	2
	ムササビ	2
	タヌキ	1
	テン	1
	イタチ	1
	リス	1
	鳥類	ヤマドリ(一部キジ)
	ハト	6
	カケス	4
	カモ(種不明)	1
	水鳥(種不明)	1
は虫類	ヘビ(種不明)	個体数不明

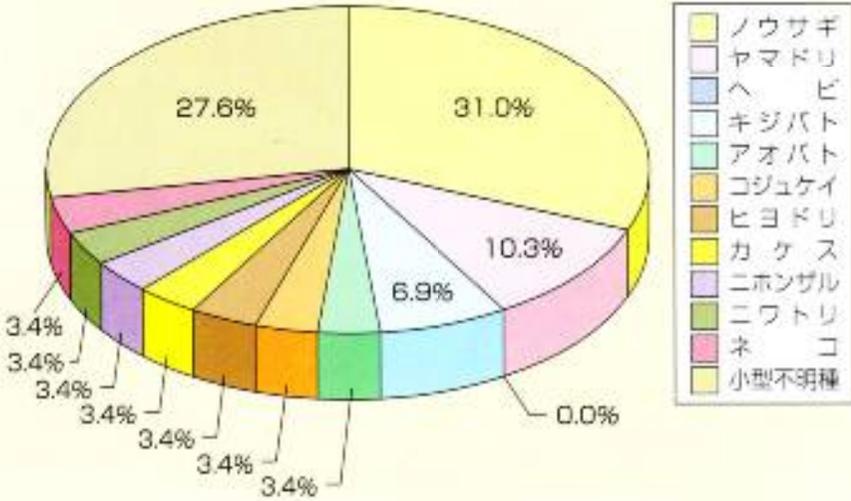
石川県 (上馬 1993)



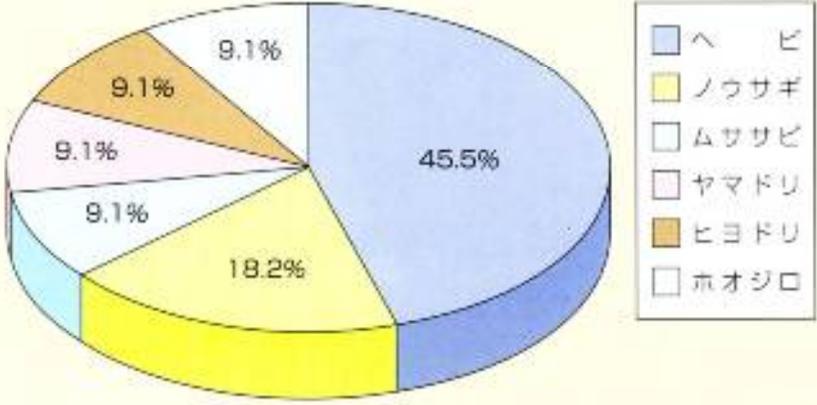
福井県 (久保上 1987)



奈良県 (菊田 1984)



広島県 (森本&飯田 1992)



「クマタカ・その保護管理の考え方」より



ノウサギを運ぶクマタカ (撮影：福井強志)

奈良県川上村における クマタカの繁殖状況

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1983	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
1984	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
1985	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
1986	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
1987	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
1988	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1989	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1990	○	○	○	○	○	○	○	○	○	?	○	×	○
1991	?	?	○	○	○	○	?	?	?	○	○	?	○
1992	×	○	?	○	○	○	×	?	○	?	○	×	○
1993	○	?	×	?	○	○	?	?	?	?	○	×	○
1994	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○

-は調査せず

菊田他(1995)

表7 鈴鹿山地におけるクマタカの繁殖状況

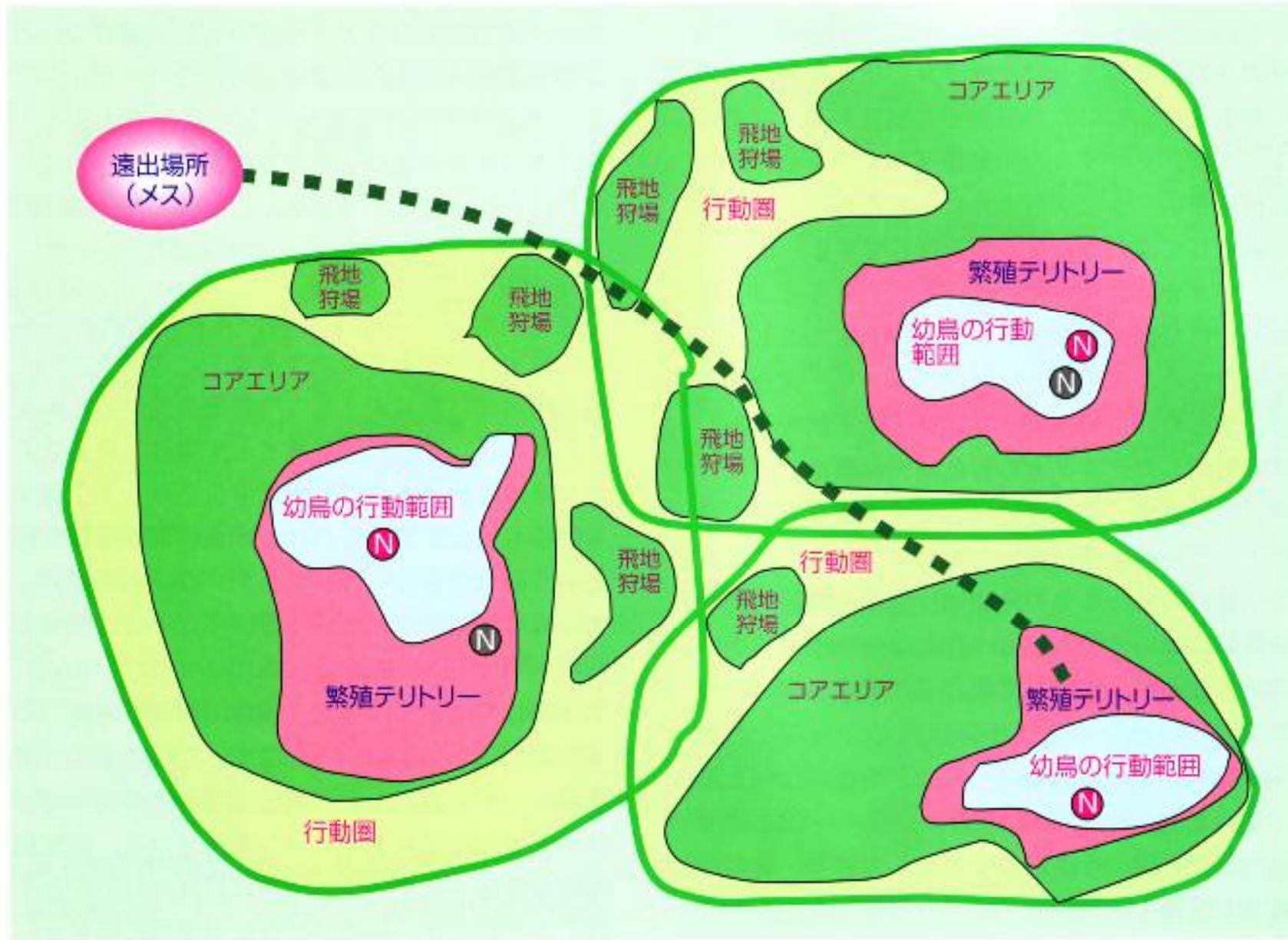
ペアコード	'87	'88	'89	'90	'91	'92	'93	'94	'95	'96	'97	'98
K0401		●								●	×	×
K0403	●	×	×	×	●	×	×	×	●			
K0404	●							×	×			
K0405					●							
K0406			●									
K0501	●	×	●	×	●	×	×	×	×	×	×	×
K0502	●	×						×	●	×	●	×
K0601	●					×	×					

●：繁殖成功 ×：繁殖失敗

西中国山地における クマタカの繁殖状況

ペア	A	B	C	D	E
1982	○				
1983	○	○			
1984	×	○			
1985	○	○			○
1986	×	○			○
1987	○				
1988	×				
1989	○	○			
1990	×	○			
1991	○	×	○		
1992	×	○	×	○	
1993	×	×	○	×	×
1994	×	○	×	×	×
1995	×	×	×	×	×
1996	×	×	×	×	×

(飯田 1996)

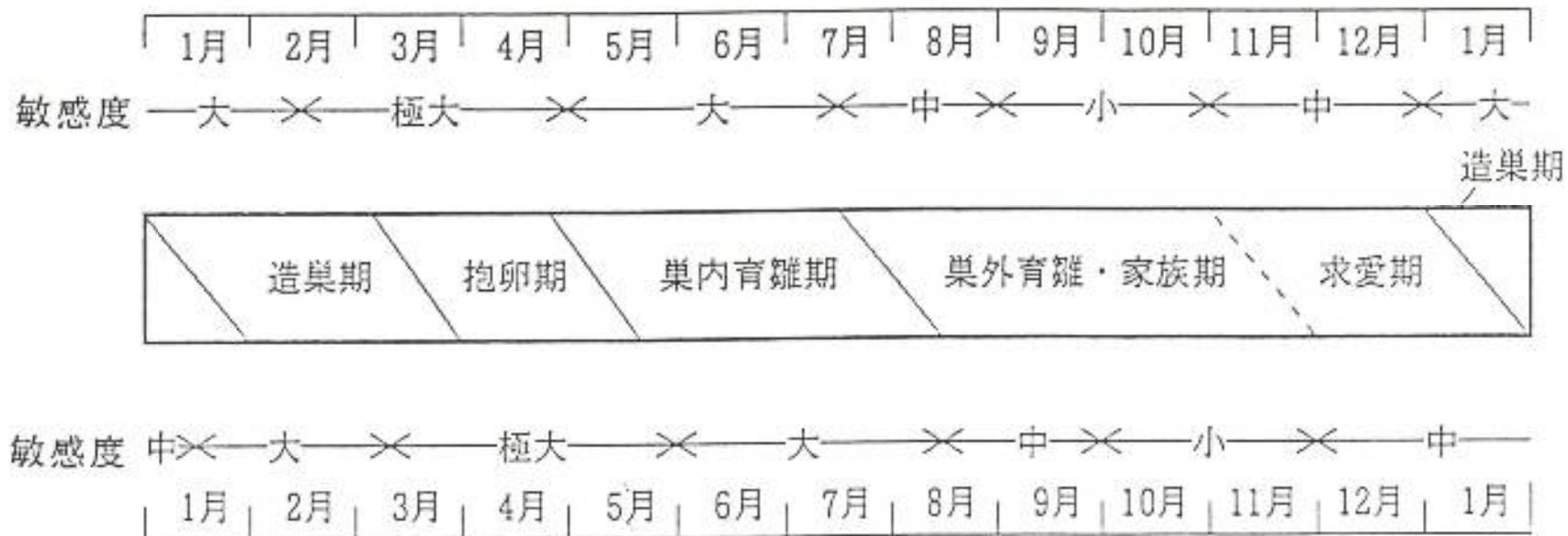


行動圏の内部構造

「クマタカ・その保護管理の考え方」より



クマタカの巣



図Ⅱ-3 クマタカ的生活サイクル

クマタカ的生活サイクル

環境庁：「猛禽類保護の進め方」より

クマタカの繁殖を阻害したと考えられる要因
(35事例)

要因		事例数	
自然	営巣木の枯死	4	
	巣の落下	1	
計		5	
人為	営巣環境改悪	営巣斜面の伐採	10
		営巣木の伐採	4
		観光開発	1
	繁殖行動妨害	巣付近での人間活動	11
	迫害	巣内雛の密猟	3
		巣の破壊活動	1
	計		30

クマタカ保護管理に必要なこと

- クマタカ生態研究グループの提言 -

- ・繁殖場所の確保
- ・餌場の確保
- ・地域個体群の保護

繁殖が持続できる環境

